

# 10 暮らしやすいまちづくり

## 2 人権を尊重した社会づくり

主担当部局(長)名  
 暮らし創造部長 榎田 斉志

### 目指す姿

人権を基本とした人間関係が広く社会に根付く「人権文化の創造」を目指し、人権尊重の視点に立って行政を推進します。

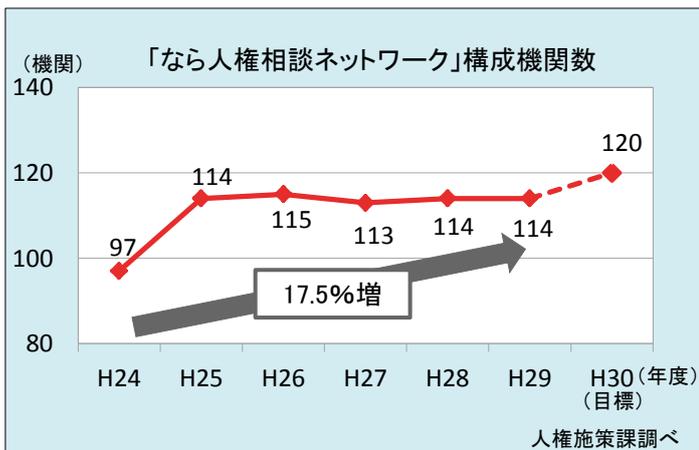


なら・ヒューマンフェスティバル

### 主な成果

人権問題に関する県民の意識の現状把握や、前回(平成20年度)調査との経年比較により人権施策の効果検証を行い、今後の人権施策の取組に反映させるため、平成29年度に「人権に関する県民意識調査」を行いました。(平成30年度「奈良県人権施策に関する基本計画」改定予定)

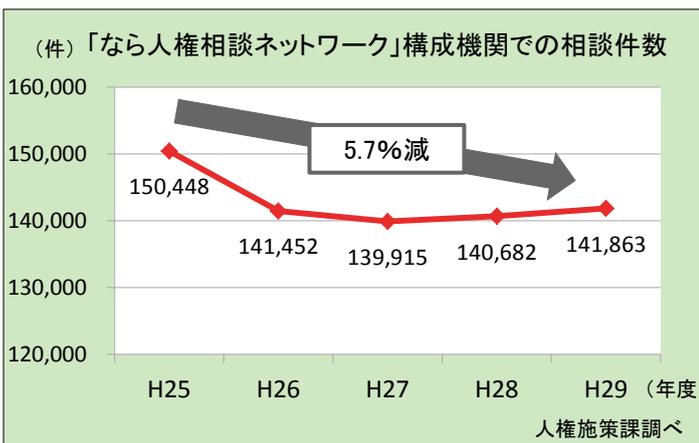
## 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成30年度までに、「なら人権相談ネットワーク」構成機関を120機関に増やします。
成果	相談体制を充実させるため、人権問題に取り組む新たな団体の発掘に努めましたが、参加を得られず、「なら人権相談ネットワーク」構成機関数は平成25年度以降横ばいの状況です。

## 2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①様々な人権問題や人権の歴史等を学べるような人権教育を目指します。 ②様々な人権問題に対応するため、人権問題に取り組む団体のネットワークを充実します。
------	--



目標	様々な人権問題に対応するため、人権問題に取り組む団体のネットワークを充実します。
成果	相談機関の連携強化が図られ、複数の相談機関への重複的な相談が減少したこと等により、「なら人権相談ネットワーク」構成機関での相談件数は平成26年度に減少しましたが、以降は14万件前後で推移しています。